



千葉1区 中央区・稲毛区・美浜区

田沼たかし

本会議デビュー！ 国力のあがる税制へ！



Youtubeで
チェック下さい！

平成26年2月14日 衆議院本会議

党を代表して、本会議場での質問に、初めて立ちました。一年生議員での登壇は、滅多にないこと。大抜擢に、感謝です。

質問は、税制改正について。消費税増税も控え、生活に直結するテーマです。経営コンサルタントとしての経験から、改革の不十分さを追求しました。各大臣の答弁は中身が薄く、逃げを感じ残念でした…。今後も真に国力のあがる税制を目指し、果敢に切り込みます！

田沼の質問

経営コンサルタントの経験からすると、所得拡大促進減税と、投資促進減税の両方あるのは、矛盾すると思えるが？

法人税の減税こそ、日本の国際的魅力を高め、企業も強くなる、不可欠な改革。しかし今回はノータッチ。なぜ何もしないのか？

総務省の租税特別措置の評価によると、毎年毎年、そのほとんどが費用対効果の説明が不十分と出ている。由々しき事態では？

政府側の答弁

【麻生財務大臣】過去の実績などをもとに推計して積算した。(田沼:企業の余剰資金は、設備投資と賃金増のどちらに回すかといえば、当然まず設備投資。賃金増が可能か疑問。)

【甘利経済再生大臣】検討し、状況を踏まえ判断する。(田沼:6月に決める「骨太の方針」での決定を期待！改革断行を！)

【新藤総務大臣】改善、評価の質の向上に取り組む。(田沼:分析評価をきちんと行って、効果の無い租税特別措置は整理すべき！)

田沼たかしのプロフィール

- 1975(昭和50)年12月26日生まれ 38歳 千葉生まれ千葉育ち 二児の父
- 園生幼稚園、小中台南小、小中台中、千葉東高校、東京大学経済学部卒
- 外資系経営コンサルティング会社・アクセンチュアにて大企業や官公庁の改革プロジェクトを手掛ける。
- 30歳のときに政治を志し、街頭活動を開始。アクセンチュアを退社。
- 2009年(補選)、2011年、千葉市議(稲毛区選出)2期連続トップ当選(無所属)。
- 2012年、衆議院議員選挙にて初当選。現在、衆議院財務金融委員会委員、拉致問題特別委員会理事
- 趣味は、合唱ひとすじ22年。現在「合唱団からたち団長」。



お気軽にご連絡ください

千葉事務所 稲毛区小仲台4-14-8
 TEL 043-253-9610 (必ずお返事します)
 FAX 043-253-7255
 国会事務所 衆議院第2議員会館416号室

Mail office@tanuma.info
 HP http://tanuma.info
 Blog http://ameblo.jp/tanuma
 Twitter @tanumatakashi

河野談話の見直しを求める署名のご協力を！

「慰安婦問題」に関する河野談話の見直しを求める国民運動（署名活動）がいよいよ始まりました！

韓国は、河野談話を根拠に、世界各国で「告げ口外交」に奔走しています。アメリカに「慰安婦像」が建設されたことは、ご存じのことと思います。

もう「事なかれ外交」は終わりにしましょう！

河野談話を、何としても見直さなければ、日本復活はできません！

日本を想う全ての皆さん、ご協力ください！

ご家族・ご友人にもぜひお声掛けをお願いします！

★田沼たかし公式ホームページ

(<http://tanuma.info/>) からPDFファイルをダウンロードし、郵送またはFAXでお送りください。



■田沼たかし公式ホームページ

ここからダウンロード

共に日本を変えましょう！よろしくお願いします！！

■街頭活動も行います■

とき：3月9日(日) 13:00~17:00 場所：JR千葉駅クリスタルドーム前
署名して頂ける方、一緒に呼びかけて頂ける方、大募集です！

「河野談話」の問題点とは

平成5年、河野洋平官房長官(当時)による、慰安婦の方々への謝罪を述べた「河野談話」。しかし実は、**国家が強制連行した証拠はないのです。証拠が無いのに謝罪してしまった。**そして先日、この談話の根拠たる、慰安婦の方々への聞き取り調査が、極めてずさんだったことが発覚。更には調査報告書や談話自体を韓国が修正していたことがわかりました。これはつまり、**謝罪という結論ありきの調査と談話だった**ということ。

こんなことは決してあってはなりません。慰安婦の方々がかつての苦しい体験をされたことは心から同情します。しかし政府がやってもないのに謝罪することは、日本の名誉と誇りが貶められ、「日本が悪い国だった」という誤解を若者達に与えてしまう。それは絶対にあってはなりません！

私も、昨年12月6日、事務局次長を務める、党歴史検証PTで、聞き取り調査の情報公開請求をしました。結局、請求は棄却され、非公開のままですが…

そして、今年に入り、2月20日の予算委員会で、我が党の山田宏代議士の質問に対し、談話作成当時の事務方のトップである石原信雄元官房副長官が答弁に立ち、**国会の場で、慰安婦証言の裏付け調査はしていない(まま談話発表されてしまった)**ことが、白日に晒されました。



↑答弁に立つ、石原信雄元官房副長官

談話発表以来、ここまで見直しの機運が高まったのは、今回が初めてです！
今こそ、**日本を愛する皆さんの力を結集しましょう！！**